

リウマチ・アレルギー科

島根県立中央病院は、リウマチ性疾患が年間150症例（関節リウマチ／若年性特発性関節炎を約50 症例含む）以上ある、日本リウマチ学会教育施設です。

リウマチ性疾患の病態、診断、治療、管理、保健と福祉などの幅広い問題についての知識、技能、態度を習得し、適切かつ安全なリウマチ性疾患の診療を提供できる能力を賦与すること、ならびにそれらを自ら継続的に学習し、臨床的能力を臨床研修医、専門医が維持できるように準備しています。

関節リウマチ、全身性結合組織病（全身性エリテマトーデス、強皮症、多発性筋炎・皮膚筋炎、血管炎症候群、抗リン脂質抗体症候群、混合性結合組織病、ベーチェット病、シェーグレン症候群、再発性多発軟骨炎、成人Still病）、脊椎関節炎、変形性関節症、感染に伴う関節炎、内分泌代謝疾患に関連する関節炎、神経血管障害、骨軟骨疾患、サルコイドーシス、RS3PE、リウマチ性多発筋痛症、キャッスルマン病、IgG4関連疾患など、リウマチ性疾患の診断と治療方針の決定に携わります。

近隣からの紹介の他、総合診療科、救命救急科、耳鼻咽喉科、皮膚科、整形外科など院内からの紹介も多く、総合病院としての利点があります。

診断においても、各科への迅速な対診や生検など円滑な診療が行えます。また、生検後の病理結果に関して専門医に対する質問、相談を直接行うことが可能です。

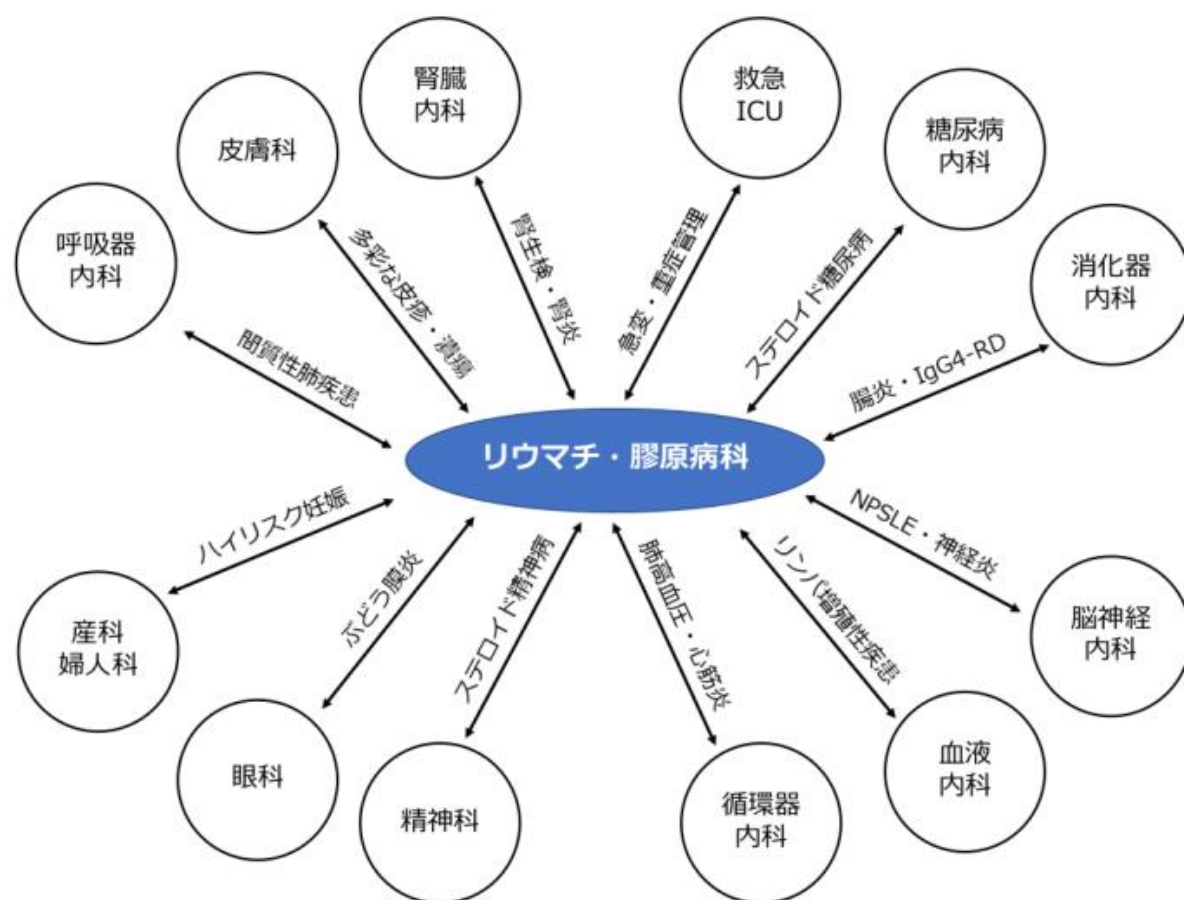
治療においては、ステロイドや免疫抑制剤以外に生物学的製剤や血漿交換などで対応しています。診断から入院、及び退院後の外来診療に渡って、急性期、慢性期の診療が可能です。

島根大学膠原病内科からの外来診療応援を受け、転院での診療連携もしています。

リウマチ・アレルギー科で経験できる リウマチ性疾患の診断と治療

◇整備基準に記載しているカリキュラムに定める9疾患群

- 1 全身性結合組織病
- 2 脊椎関節炎および類縁疾患
- 3 変形性関節症
- 4 感染に伴う関節炎
- 5 代謝性および内分泌疾患に関連する関節炎
- 6 神経血管障害
- 7 関節外疾患
- 8 骨軟骨疾患
- 9 その他の膠原病・リウマチ内科領域疾患および関連疾患



リウマチ関連疾患

リウマチ関連疾患
関節リウマチ
リウマチ性多発筋痛症
脊椎関節炎（脊椎関節症）
強直性脊椎炎
乾癬性関節炎
炎症性腸疾患に関連する脊椎炎
ブドウ膜炎に関連する脊椎炎
SAPHO症候群
掌蹠膿疱症性骨関節炎

膠原病

全身性エリテマトーデス
シェーグレン症候群
皮膚筋炎・多発性筋炎
全身性強皮症
血管炎症候群
高安動脈炎
結節性多発動脈炎
多発血管炎性肉芽腫症
好酸球性多発血管炎性肉芽腫症
顕微鏡的多発血管炎
抗GBM抗体関連疾患
IgG4関連疾患
ベーチェット病
成人スティル病

その他

TAFRO症候群
キャッスルマン病
免疫不全症
自己炎症症候群



リウマチ専門医

日本内科学会認定医制度教育施設（教育病院）
日本リウマチ学会認定教育施設
日本アレルギー学会認定教育施設

